

東日本大震災 消防署所の活動及び被害状況に係る調査票  
 (死者・行方不明者が発生した太平洋に面した消防本部を対象)

調査日：平成23年4月20日

消防本部名	久慈広域連合消防本部	構成職員数	136名 (H21.10調)
構成市町村	久慈市、洋野町、野田村、普代村	構成署所数	1消防署 5分署
調査署所名	久慈消防本部・久慈消防署	庁舎職員数	本部8名 署総員53名 2交替制・当番23名

調査対象の消防署所位置 (仮庁舎の場合は、被災した庁舎と仮庁舎両方)



庁舎 定礎 平成11年8月 地震・津波の被害なし

1F 車庫・仮眠室等、2F 事務室 本部・署、3F 防災教育ホール・備蓄倉庫等

○庁舎外観

庁舎の全景写真 1	庁舎配置図 (配置車両数)
 <p>正面玄関 (南)</p>	<p>耐火 3/0</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin-right: 10px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">             団車庫等         </div> <div style="margin-left: 10px;">北</div> </div> <p>配置車両</p> <p>本部 司令車 1、防火広報車 1</p> <p>署 水槽付ポンプ車 2、ポンプ車 2、屈折はしご車 (高所放水) 1、化学車 2、高度救急車 2、救急車 1、指揮車 1、林野火災工作車 1、救助工作車 1、査察広報車 1、水槽車 1 等</p>

庁舎の全景写真 2



車庫出入口（北）

庁舎の全景写真 3



消防団車庫等（兼資機材置き場）

庁舎の全景写真 4



消防本部・署入り口（庁舎南側）

庁舎の全景写真 6



庁舎南側（訓練場所・地域避難場所）

庁舎の全景写真 7



防災教育センター入り口（庁舎東）



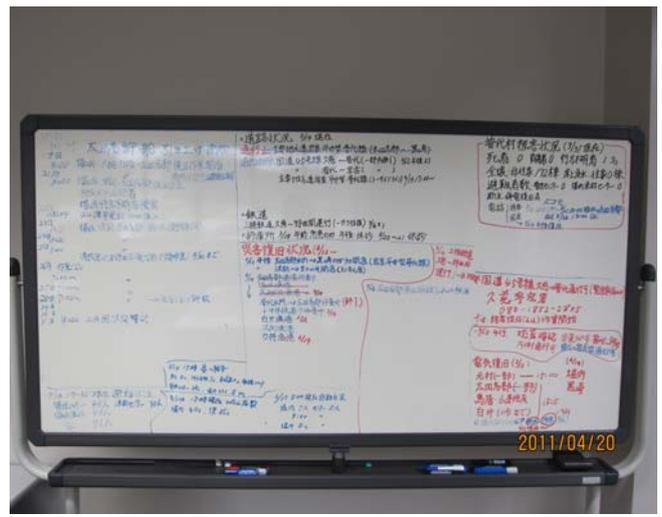
躯体・設備等被害なし、  
但し、東側支柱周囲植栽囲い御影石一部亀裂

署員の勤務状況（4月20日）



勤務は、平常勤務（出場なし訓練中）

地震発生時の活動状況



消防活動（被害）情報板（一部）

○庁舎周辺の様子

周辺の被害の様子 1



署周辺建物等の被害なし

周辺の被害の様子 2



久慈市民文化会館（アーバンホール）

周辺の被害の様子 3



久慈市役所（被害なし）

周辺の被害の様子 4



周辺商店（平常通り営業）

○周辺の被害の様子

久慈国家石油備蓄基地の様子 1



久慈国家石油備蓄基地の様子 2



久慈国家石油備蓄基地の様子 3



久慈国家石油備蓄基地の様子 4 (避難看板)



久慈国家石油備蓄基地の様子 5



久慈国家石油備蓄基地の様子 6 (避難路)



その他、特筆すべき事項（例：消防団、他消防本部、警察・自衛隊など他機関との連携など）

1 本部

- ① 地震・津波により被災した普代分署の庁舎建設（改修？）と現勤務員の環境整備（事務室、寝室等）に苦慮している。

2 消防署

- ① 3月11日 地震発生に伴い庁舎、周辺地域停電する。停電に伴い非常用発電機が稼動する。13日の通電まで、非常用発電機を作動させ通信システムを可とした。
- ② 4月6日の消防学校入校が、5月9日に変更となったことから、入校予定者6名を署配置とし署員教育を実施していた。
- ③ 非常用発電機（地下タンク貯蔵所、A重油8000ℓ）を設置していたが、今回の停電で初めて約3日間連続運転し、庁舎内の通信ライン、非常用照明ライン等の状況が確認でき、非常用電源確保のあり方の参考となった。

以上